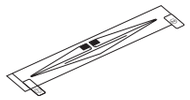
Panasonic



取付説明書

ワンセグ用フィルムアンテナ

品 番 : **CA-TA010D**

適合機種：CN-MP50D（2008 年 2 月現在）

お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 本説明書および接続する機器の説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に、「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- お読みになったあと大切に保管し、必要なときにお読みください。

販売店様へのお願い

- 本機の取り付け後、この取付説明書は必ずお客様へご返却ください。

お客様へのお願い

- 本機の取り付け、配線には専門の技術と経験が必要です。安全のため、必ずお買い上げの販売店にご依頼ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年　月　日	品番	CA-TA010D
販 売 店 名	☎（　　）　　－		

松下電器産業株式会社
パナソニック オートモーティブシステムズ社
〒 224-8539　横浜市都筑区佐江戸町 600 番地
お客様ご相談センター
- 電話 フリーダイヤル　0120-50-8729
  受付 9:00 ～ 17:00/365 日
- 一般電話　045-929-1265（携帯電話・PHS など）
- F A X　045-938-1573
  一般電話・FAX 受付 9:00 ～ 17:00
  （土・日・祝日・当社休日を除く）

※ 一般電話、および FAX をご利用の際の通信料は、お客様のご負担となります。

© 2008 Matsushita Electric Industrial Co., Ltd. All Rights Reserved.

YGFM294462　FX0108-0
Printed in China

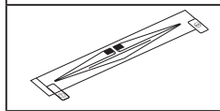
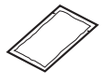
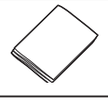
仕　様

受信周波数	470 MHz ～ 770 MHz（13 ch ～ 62 ch）
実用感度	－ 88 dBm
外形寸法（幅×高さ×厚さ）	200 ㎜ × 22 ㎜ × 0.2 ㎜
重量	約 50 g（コード含む）
コードの長さ	3 m
貼り付け場所	フロントガラス

- 本製品の仕様、外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- イラストはイメージであり、実際と異なる場合があります。

内容物の確認

万一、不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

品　名	数量
 アンテナ本体	1
アンテナコード (3 m)	1
コードクランパー	3
 クリーナー	1
 取付説明書（本書）	1

安全上のご注意　必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ **表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。**

⚠ **警告**	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ **注意**	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ **お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。**（下記は絵表示の一例です。）

⃠	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
❗	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警告

運転や視界を妨げる場所には、絶対に取り付けない

⃠ 前方・後方の視界を妨げる場所への取り付けは、交通事故やけがの原因になります。

クランパーなどの小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かない

⃠ あやまって、飲み込む恐れがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

分解・修理、および改造をしない

分解禁止

分解・修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは絶対におやめください。火災や感電、事故の原因になります。

雷が鳴りだしたら、アンテナ線等に触らない

接触禁止

落雷による感電の恐れがあります。

エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に取り付け・配線しない

⃠ エアバッグが正常に動作しなかったり、動作したエアバッグで本機や部品が飛ばされ、事故やけがの原因になります。車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。

指定に従って配線・取り付けをする

❗ 説明書に従って正しく配線・取り付けをしないと、火災や事故の原因になります。

フィルムアンテナは、取付許容範囲内に貼り付ける

❗ 保安基準に適合するように、指定に従って貼り付けてください。視界不良による交通事故の原因になります。

⚠ 注意

コードを破損しない

⃠ 傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものをのせる、熱器具へ近づける、車の高温部に接触させるなどしないでください。断線やショートにより、火災や感電、事故の原因になることがあります。
- 車体やねじ・可動部（シートレールなど）へ挟み込まないように、引き回してください。
- ドライバーなどの先で押し込まないでください。

車載用以外には使用しない

⃠ 車載用以外（例えばレジャーボートやアウトドアなど）に使用すると、発煙・発火、感電やけが、故障の原因になる場合があります。

配線・取り付け/取りはずしは、専門技術者に依頼する

❗ 配線・取り付け / 取りはずしには、専門技術と経験が必要です。安全のため、必ずお買い上げの販売店にご依頼ください。

はずれたり・落下しないようにしっかり取り付ける

❗ 取り付け場所の汚れやワックスなどをきれいに拭き取り、確実に固定してください。
再貼り付けや汎用の両面テープなどで取り付けると接着が弱くなり、走行中にはずれて落下し、事故やけがの原因になります。ときどき接着や取り付けの状態を点検してください。

必ず付属品や指定の部品を使用する

❗ 指定以外の部品を使用すると、機器の内部を損傷したり、しっかりと固定できずにはずれるなど、事故や故障、火災の原因になることがあります。

アンテナを取り付ける

貼り付ける前に

- **アンテナは、運転者の視界を妨げない位置に、はがれないようしっかり貼り付けてください。**
- **車種によって、性能が発揮できない場合があります。**
  - 熱線反射ガラスや断熱ガラス、電波不透過ガスなど電波を通さないガラスを使用した車種の場合、受信感度が極端に低下します。お買い上げの販売店にご相談ください。
- **妨害を防ぐため、他のアンテナから、10 cm 以上離して貼り付けてください。**
- **ガラス面が完全に乾いていない状態でアンテナを貼り付けると、接着不良などによるはがれの原因になります。ガラスが十分に乾いた状態で作業を行ってください。**
  - 気温が低いとき (20℃以下) は、車内ヒーターやデフロスタでフロントガラスを温めてください。
  - 界面活性剤入りのクリーナーは使用しないでください。

必ず車室内（フロントガラスの上側）に貼り付けてください。

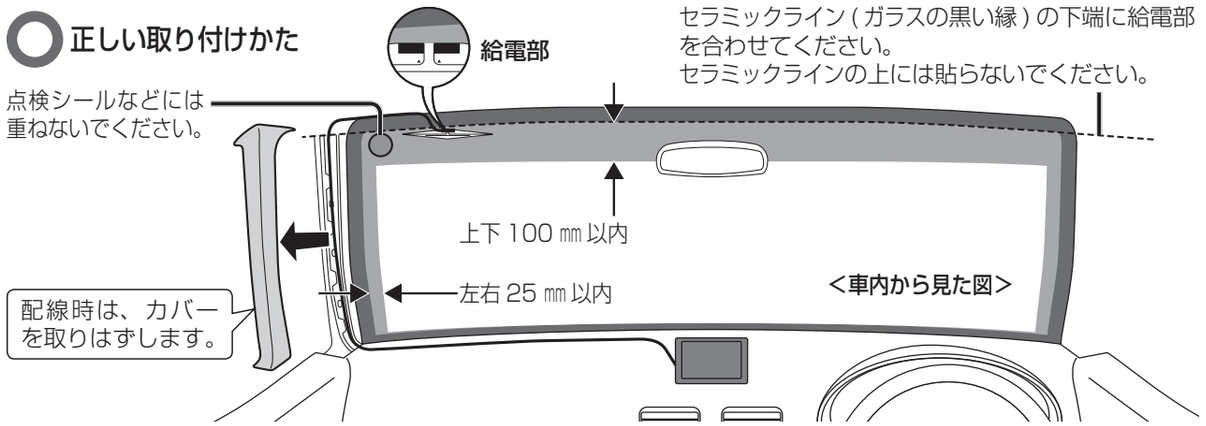
- サイドガラスやリヤガラスには貼らないでください。十分な受信状態が得られません。
- アンテナを折り曲げないように、取り扱いにご注意ください。

■ 取付許容範囲について

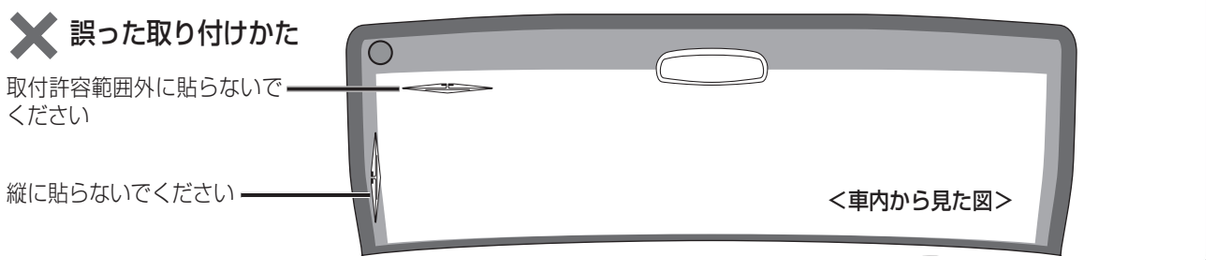
国土交通省の定める保安基準※に適合させるため、アンテナの給電部は、取付許容範囲内 (　 部) に貼り付けてください。

※ 保安基準とは、道路運送車両の保安基準第 29 条第 4 項第 7 号に対する、平成 11 年 12 月 27 日付の運輸省 (当時) 告示第 820 号をいいます。

○ 正しい取り付けかた



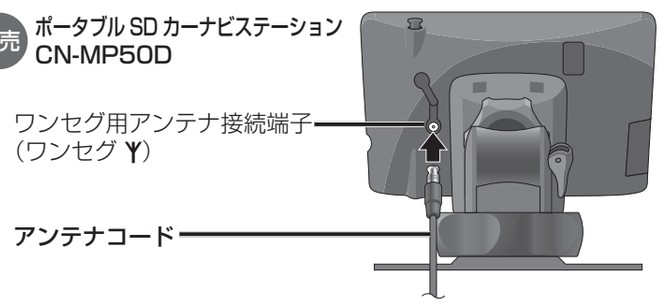
× 誤った取り付けかた



接続のしかた

アンテナコードを、カーナビゲーション（別売）のワンセグ用アンテナ接続端子に接続する。

別売 ポータブル SD カーナビステーション CN-MP50D

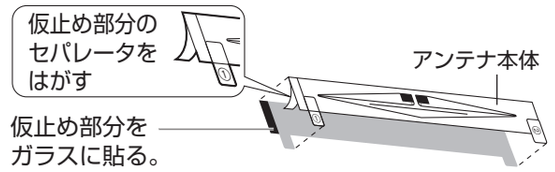


付属のクリーナーで、設置面 (ガラス面、ピラー) の汚れ (ごみ、油) などをきれいに拭き取ってください。

貼り付けかた

1 仮止めして貼り付け位置を決める。

（貼りなおせません）



2 セパレータをはがす。

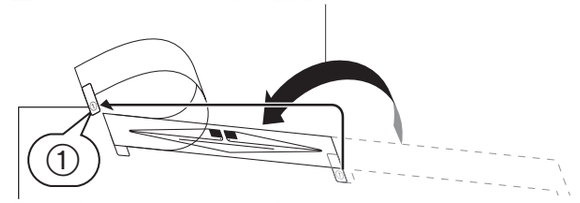
- フィルムを強く曲げる、急にはがす、引っ張るなどしないでください。断線の原因になります。
- フィルム・エレメントの糊面に触れないでください。

エレメントがセパレータ側に残る場合

1 セパレータをもとどおりに貼り付け、裏返したアンテナをもとの向きに戻す。
2 フィルムの上から、指先でエレメントをこする。
- 先のとがったものでこすらないでください。
- 同じ部分を何度も強くこすらないでください。

3 再度セパレータをはがす。

1 仮止めシールを支点に裏返す。

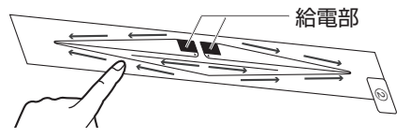


2 タグ ① を持って、セパレータをはがす。

3 エレメントをしっかりガラス面に密着させる。

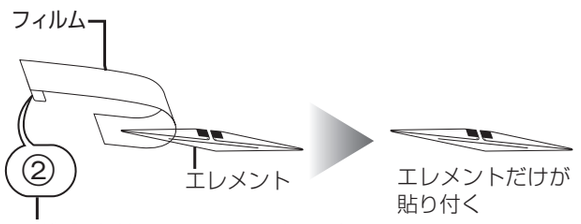
- 矢印の方向に、エレメントに沿って指などで均等に押し付け、たわみや気泡が残らないようにガラス面に密着させてください。
- 車外から見て、エレメントがガラスに密着していることを確認してください。

給電部を特に念入りに押さえてください。



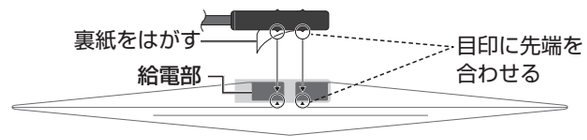
4 フィルムをはがす。

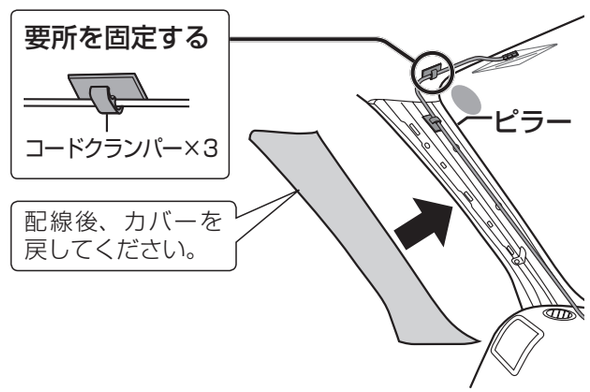
- フィルムの端を持って、角から斜めにゆっくりとはがしてください。
- エレメントがフィルム側に残る場合は、いったんフィルムをもとに戻して、手順 ***3*** からやり直してください。
- ガラス面にセパレータが残っている場合は、はがしてください。



タグ ② を持ってフィルムをはがす。

5 アンテナコードの端子を給電部に貼る。



6 配線する。

- 他のコード類からできるだけ離してください。また、束ねたり重ねたり交差させたりしないでください。テレビ、FM ラジオなどの音声に雑音が入る原因になります。